

大産建発 第 261 号
平成 20 年 10 月 20 日

国土交通省道路局長 様

大利根町長 柿 沼 ト ミ



今後の道路行政についての意見・提案について(回答)

平成20年 9 月19日付け、国道企第37号で依頼のありました標記の件につきまして、別紙のとおり回答いたします。

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

埼玉県大利根町

道路行政全般について、次のとおり要望します。

○地方道路譲与税及び自動車重量譲与税に係る地方配分率を引き上げること

【 趣 旨 】

本町では、安全、安心の観点から早急に改良すべき住民に身近な生活道路が存在しています。

しかし、事業費、延長、幅員等が国庫補助事業採択基準に満たないため、一般財源で整備せざるを得ませんが、高齢化に伴う社会保障費の増加などにより、財源が不足しています

このようなことから、地方の実情に応じた柔軟な道路整備を地方の裁量で整備できるよう、地方財源拡充策として上記を要望するものです。

②-1 地域の現状と抱える課題

埼玉県大利根町

○現状

1. 生活道路の新設整備はもちろんのこと、1級、2級町道をはじめ一般町道では、道路舗装及び橋梁の老朽化が顕著となり、安全な通行を確保するための維持修繕箇所が増加している。
2. 安全安心な街づくりのための反射鏡、防犯灯及び道路照明灯等、町を明るく、死角の少ない犯罪などの起こりにくい道路や、交通弱者保護のための町道規模に見合った小規模な歩道整備等の道路環境整備が求められている。

○課題

- 1 安全確保のため緊急対応が必要な道路を先行して、応急的な措置を施し、根本的な補修、修繕などの改善措置は、町の一般財源のみを充当して行っているため、財政状況が厳しく財源確保が重大な課題となっている。
- 2 交通安全施設や小規模な歩道整備についても、財源としては町の一般財源であることから、上記の同様に財源不足が課題となっている。

②-2 地域の目指すべき将来像

埼玉県大利根町

- ・安全で安心して通行できる街づくりを目指すために、老朽化した舗装等の補修、修繕を進め凹凸の少ない快適な道路整備を図り、住民の身近にある道路を子供やお年寄り及び身障者の方などの交通弱者に配慮したバリアフリーを取り入れた人にやさしい道路の整備を目指します。
- ・豪雨時などによる浸水被害等が起こりにくい道路づくりに努め、構造的に被害を回避できない道路に対する安全措置を講じて、緊急時に対応できる態勢を整え、災害に強い道路づくりを目指します。
- ・犯罪防止対策としての防犯灯や交通安全施設としての道路照明灯や反射鏡を通学路等の交通量の多い道路に配し、町を明るく死角の少ない道路整備を目指します。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③ 道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

埼玉県大利根町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・計画的・効率的な維持管理や更新の推進 ・少子高齢社会に対応した子育て環境、バリアフリー社会の形成 ・水害等の災害に強い国土づくり ・総合的な交通安全対策及び危機管理の強化	・舗装、橋梁の老朽化や劣化 ・公共空間のバリアフリー化 ・豪雨時の道路冠水 ・交通事故の発生や痴漢、変質者の出没	・老朽化した舗装等の補修、修繕を進め凹凸の少ない快適な道路網の構築が図れる。 ・住民の身近にある道路を子供やお年寄り及び身障者の方などの交通弱者に配慮したバリアフリーを取り入れた人にやさしい道路網の構築が図れる。 ・豪雨時などによる浸水被害等が起こりにくい道路づくりに努め、構造的に被害を回避できない道路に対する安全措置を講じて、緊急時に対応できる態勢を整え、災害に強い道路網の構築が図れる。 ・犯罪防止対策としての防犯灯や交通安全施設としての道路照明灯や反射鏡を通学路等の交通量の多い道路に配し、町を明るく死角の少ない道路網の構築が図れる。	